

令和7年9月第3回市長定例記者会見

- ・ 日時 令和7年9月16日(火)
午後2時
- ・ 場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 夏の終わりに感動のフィナーレを
「第33回たちばな古里まつり・湖上花火大会」が開催されます(資料1)
- 2 渋川市20周年記念事業「合理的配慮と防災」パネルディスカッションが
開催されます(資料2)
- 3 令和7年度の「共生社会推進月間」における取り組みを紹介します(資料3)
- 4 各事業者等による食品ロス削減の取り組みを募集する
「私たちの食品ロス削減取組コンテスト」を実施します(資料4)
- 5 家庭ごみの出し忘れを防ぐため渋川市公式LINEを活用した「ごみの日通知」
の運用を開始します(資料5)

その他資料提供

- ・ 渋川市20周年記念事業「しぶかわ環境まつり」を開催します(資料6)

○次回開催予定

日時：令和7年9月22日(月) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
9月16日(火)	9:00	市長初登庁式並びに就任式	市役所本庁舎北側駐車場	秘書室
	11:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	「手話言語の国際デー」啓発イベント開催セレモニー	市役所本庁舎	地域包括ケア課
	14:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
9月17日(水)				
9月18日(木)	10:00	議会運営委員会	市役所本庁舎	議会事務局
	13:00	伊香保まつり蘆花祭	徳富蘆花記念文学館ほか	観光課
	14:00	第63回渋川広域圏内発明くふう展審査会	勤労福祉センター	産業政策課
	16:00	予算編成会議	市役所本庁舎	財政課
	17:45	世田谷区等との懇親会	和心の宿大森	観光課
	19:30	伊香保まつり鏡開き	だんだん広場	観光課
9月19日(金)				
	18:00	渋川商工会議所青年部座談会・納涼会	渋川商工会議所ほか	産業政策課
9月20日(土)				
9月21日(日)				
9月22日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	14:00	令和8年度予算編成方針説明会	市役所本庁舎	財政課
	14:30	広域組合 管理者・副管理者会議	広域組合事務所	広域組合

夏の終わりに感動のフィナーレを 「第33回たちばな古里まつり・湖上花火大会」が開催されます

ふるさとの歴史、文化に誇りを持ち、地域活性化を目指す「第33回たちばな古里まつり・湖上花火大会」が、9月28日(日)に愛宕山ふるさと公園で開催されます。

静かな湖面を華やかに彩る花火大会をはじめ、様々な催し物が行われます。

1 概 要

北橋中学校の3年生が、古代人をイメージした衣装をまとい、地元に伝わる橘山伝説の弟橘姫（おとたちばなひめ）と日本武尊（やまとたけるのみこと）をモチーフにした壮観な古代行列を行います。そのほか、バンド演奏や歌謡ショー、タガフープ世界チャンピオンに挑戦などの様々な催しが行われます。祭りの最後には、夜空を彩るたちばな湖上花火大会が行われます。

2 日 時 令和7年9月28日(日) 午後1時30分～8時（雨天決行）
※花火大会は午後7時～

3 場 所 愛宕山ふるさと公園（渋川市北橋町小室404-1）

4 内 容

（1）体験コーナー等（午後1時30分～）

竹とんぼ作りや木工教室、お菓子すくいなど、子どもたちが楽しめるブースが設けられます。

（2）うまいもん市（午後1時30分～）

地元の特産品を使ったグルメや、子ども向けのメニューなど、様々な種類の屋台やキッチンカーが出店します。

（3）古代行列（午後2時30分～）

地域の伝統文化や歴史を伝えるイベントが開催されます。

北橋中学校の生徒による古代行列が愛宕山ふるさと公園の回りを行進します。

（4）芸能ステージ（午後4時～）

バンド演奏や歌謡ショー、タガフープチャレンジなど様々なステージイベントが楽しめます。

（5）湖上花火大会（午後7時～）

約2,000発の花火が夜空を彩り、秋の夜を華やかに演出します。

音楽と連動した花火や、大玉花火など、見どころ満載です。

5 主 催 たちばな古里まつり実行委員会、たちばな湖上花火実行委員会

6 後 援

渋川市、渋川市教育委員会、北橘地区自治会連合会、赤城橘農業協同組合、しづかわ商工会

7 記者会見出席者

たちばな古里まつり実行委員会 委員長 井野 恒夫（いの つねお）さん

8 そ の 他

当日は、駐車場の混雑が予想されます。乗り合わせでの来場にご協力ください。

参考

過年度の実施状況

年度	開催日	来場者数
令和元年度	令和元年8月4日	約2,000人
令和2～4年度	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
令和5年度	令和5年9月24日	約1,500人
令和6年度	令和6年9月29日	約3,000人

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：産業政策課（電話0279-22-2596）

課長 山田 量俊（内線4890）

商工・産業振興係長 保科 陽介（内線4895）

第33回 たちはな古里まつり たちはな湖上花火大会

日時

9月28日(日)

花火打ち上げ
19:00~

会場

13:30~開会式(公園内ステージ)

愛宕山ふるさと公園



うまいもん市

Pizza・クレープ・焼きそば・
かき氷・ポテト・たこ焼
などいろいろあるよ



開会式典

渋川青翠高校太鼓部による
オープニング太鼓
先着100名抽選券付粗品配布
式典終了後抽選会

古代行列

14:30~古代行列出発
15:00~古代行列歓迎式
(中学生・自治会連合会参加)
紙芝居・バルーンリリース



各種団体イベント

ゼリーすくい・牛乳試飲・
竹とんぼ作り体験・包丁研ぎ・
ミニベンチ販売・お菓子すくい
子供の遊び場・パッチワーク販売・
香りのオイル・介護相談会



16:00~
歌謡ショー
バンド演奏もあるよ!

お客様へのお願い

- ・ゴミはなるべく各自でお持ち帰りください。
- ・公園内は全禁煙です。
- ・荒天の場合は実行委員会の判断により中止とさせて頂く場合があります。
- ・詳しくは9月25日(木)朝刊折込チラシをご覧ください。

お問い合わせ先

しぶかわ商工会北橋支所

☎ 0279-52-3007 FAX 0279-52-4103

時間 10:00~15:30

主催

たちはな古里まつり実行委員会・たちはな湖上花火実行委員会

後援

渋川市・渋川市教育委員会・北橋地区自治会連合会・JA赤城たちはな・しぶかわ商工会

資料2

渋川市20周年記念事業 「合理的配慮と防災」パネルディスカッションが 開催されます

大規模災害などの有事の際、避難所や防災の場面において、障害のある人に対する合理的配慮の必要性を学ぶためのパネルディスカッションが開催されます。

この事業は、共生社会の実現と地域の防災力の強化という視点において渋川市の地域課題と合致することから、市のまちづくりに役立つ講演会等の開催を支援する「しぶかわ未来共創事業補助金」の対象事業として渋川市が採択し、実施されるものです。

1 概要

大規模災害などの有事の際、多くの市民が避難所に集まることが予想されます。その中には、さまざまな障害がある人も含まれます。避難所や防災の場面において、それぞれの障害の特性や困りごとに応じた配慮（合理的配慮）の必要性を学び、「誰一人取り残さない防災」の実現を目指すことを目的に、インクルーシブ実行委員会の主催によるパネルディスカッションが開催されます。

この事業は、共生社会の実現と地域の防災力の強化という視点において渋川市の地域課題と合致することから、市のまちづくりに役立つ講演会等の開催を支援する「しぶかわ未来共創事業補助金」の対象事業として渋川市が採択し、開催されます。

2 日 時 令和7年10月26日（日） 午前11時～午後0時30分

3 会 場 渋川公民館・講堂（渋川市石原6-1・渋川市役所第二庁舎1階）

4 内 容

大規模災害時等の避難所における合理的配慮の必要性について、専門家を招いたパネルディスカッションを行い、「誰一人取り残さない防災」を実現するための道筋を探ります。

5 パネリスト

- ・一般社団法人インクルーシブコミュニティ協会
代表理事 新井 清義（あらい すみよし）氏
- ・環境アレルギーアドバイザー支援ネットワーク
全国支部会会長 塩田 忠則（しおた ただのり）氏

6 ファシリテーター

インクルーシブ実行委員会 実行委員長 高尾 由希子（たかお ゆきこ）氏

7 対 象

合理的配慮や防災に関心のある人、福祉避難所について興味関心のある人など

8 入 場 料 無料

9 参加方法 事前申し込み不要。当日直接会場へ。

10 記者会見出席者

- ・一般社団法人インクルーシブコミュニティ協会
代表理事 新井 清義 氏
- ・インクルーシブ実行委員会
実行委員長 高尾 由希子 氏

参考

1 「インクルーシブ実行委員会」について

障害者が不利益を被ることがないように、渋川市にインクルーシブ教育を根付かせ、事業者と障害者の相互理解を深めることを目的に設立された団体。令和6年度には、10月14日に「インクルーシブな社会を築き、共生社会の構築実現の第一歩を」と題した障害者雇用の理解を深めるための討論会、3月3日に「合理的配慮について考えるセミナー」を開催し、誰もが生き生きと活躍できる社会の実現を目指し、活動を行っている。

2 新井 清義 氏について

大阪大学大学院にて発達障害児の脳機能研究に取り組む（小児発達学博士）。発達に偏りがある子どもたちを対象とした学習支援を行うほか、発達障害・合理的配慮に関するセミナー・勉強会等のイベントに多く登壇している。

令和5年1月から一般社団法人インクルーシブコミュニティ協会代表理事を務める。

3 塩田 忠則 氏について

寝具クリーニングを中心とした寝室の環境衛生の事業を経営する傍ら、避難所における住環境・生活環境の在り方などに関するセミナー活動を行う。

寝具におけるぜんそくのアレルゲン除去技術の研さんを通じて「環境アレルギーアドバイザー」の資格を取得。その後、避難所における食物アレルギーの問題にも取り組み、防災士の資格も生かしながら、県内を中心に防災啓発活動に取り組んでいる。

4 令和7年度「しぶかわ未来共創推進事業補助金」採択事業

	事業名称	開催日	開催場所	主催者
1	心と身体を整える バランスボールセミナー	令和7年 6月21日	渋川市民会館	まるっと渋川盛り 上げ隊実行委員会
2	伊香保歴史文化風土講演会 ・現地学習会	令和7年 9月25日(木) 10月23日(木)	伊香保公民館 伊香保石段街	NPO法人地域 価値プラス
3	「子どもの力を伸ばす 大人の力」講演会・座談会	令和7年 10月25日(土)	渋川公民館	h u b

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）



合理的配慮と防災

パネルディスカッション

◆日程：2025年10月26日（日）11：00～12：30

◆場所：渋川公民館（群馬県渋川市石原6番地1）

◆参加予約不要／参加費用なし



開催趣旨

合理的配慮とは、障害のある人の人権が障害のない人と同等に保障されるとともに、教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせておこなわれる配慮のことをいいます。大規模災害等の有事の際、多くの市民が避難所に押し寄せることが予想され、その中には合理的配慮が必要な方もいらっしゃると思います。合理的配慮および防災に関する専門家を招いて、「合理的配慮と防災」について、福祉避難所の在り方も含め考えていきます。



参加対象

- ◆合理的配慮や防災に関心のある市民の方
- ◆福祉避難所について興味関心のある方
- ◆合理的配慮が必要な要配慮者とそのサポーターである方

講師

一般社団法人インクルーシブコミュニティ協会
代表理事 新井清義様

有名私立学校を目指す子供達だけでなく発達に偏りのある子供たちを対象に、関東近郊や大阪、京都、広島、愛知から生徒が集まるオンライン授業展開している。発達障害・合理的配慮に関するセミナー・勉強会等のイベントに多く登壇している。



環境アレルギーアドバイザー支援ネットワーク
全国支部会 会長 塩田忠則様

寝具クリーニングを中心とした寝室の環境衛生の事業を経営。特に生活環境衛生を得意とし、コロナ禍の消毒や防除作業体験をもとに防災や避難所運営のあり方などのセミナーも行う。プロスピカーとして分かりやすい「伝わるセミナー」を心掛ける。



《主催》

インクルーシブ実行委員会

《後援》

渋川市／国連 NGO JACE／（一社）日本環境保健機構／（一社）寝室環境衛生管理協会
（一社）日本室内空気保健協会／NPO 日本防災士会 群馬支部／上毛新聞社／群馬テレビ

お問い合わせ先：090-6415-8493

資料3

令和7年度の「共生社会推進月間」における取り組みを紹介します

渋川市は、「共生社会実現のまち」を目指し、心のバリアフリーの理念を広めるため、共生社会ホストタウンに登録された10月を「共生社会推進月間」と定め、共生社会の実現に向けた取り組みを重点的に実施しています。

今年度は、新たに共生社会シンボルマークの塗り絵と共生社会実現に向けたメッセージの募集・掲示を行い、多くの人たちと共生社会推進の機運を高めます。

1 概要

渋川市は、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが自分らしく生き生きとした人生を送り、さまざまな人々の能力が発揮されている活力ある社会の実現を目指した取り組みを進めています。

また、渋川市は、令和元年に内閣官房から「共生社会ホストタウン」に登録されたことを契機に、共生社会の実現に向けた取り組みを加速させており、登録された10月を「共生社会推進月間」として、重点的に取り組みを実施しています。今年度は、新たに共生社会シンボルマークの塗り絵と共生社会実現に向けたメッセージの募集・掲示を行います。

2 塗り絵及びメッセージの募集について

(1) 募集内容

① 共生社会シンボルマーク塗り絵

(規格：A5サイズ縦)

② 共生社会実現に向けたメッセージ

(規格：A5サイズ横)

※メッセージをシンボルマークをあしらった用紙に貼り、掲示します

(2) 募集方法

専用応募フォーム (LoGoフォーム)、郵送、持参、会場での作成

(3) 募集期間

令和7年9月16日(火)～10月24日(金)

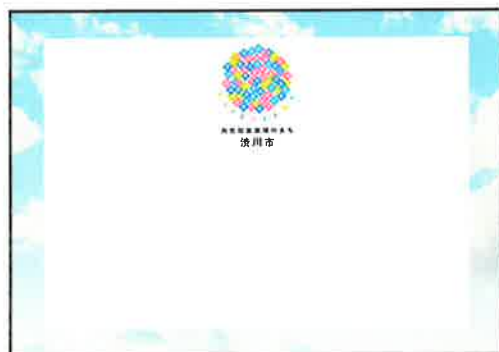
(4) 塗り絵とメッセージの掲示

① 期間 令和7年10月6日(月)～24日(金)の開庁時間

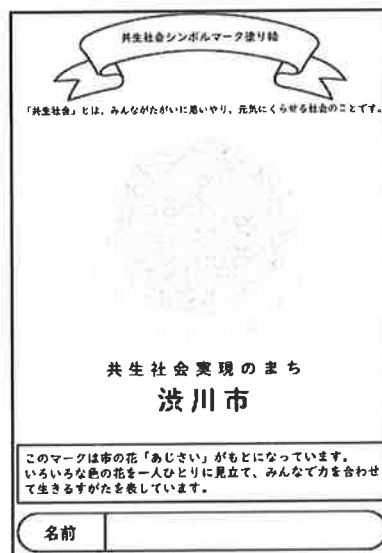
② 会場 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール



▲応募フォーム二次元コード



▲メッセージ貼り付け用紙のデザイン



▲塗り絵のデザイン

3 共生社会推進月間における主な取り組み内容

誰もが暮らしやすい社会の実現を目指し、心のバリアフリーの理念の浸透を図るため、共生社会の実現に向けた各種取り組みを実施します。

No.	取り組み内容	対象	所管課
1	職員全体が共通意識を持つため共生社会シンボルマークピンバッジを着用します	市職員	政策戦略課 (25-8419)
2	「共生社会推進月間」の懸垂幕を掲示します(10月1日(水)～31日(金))	市役所本庁舎、 渋川駅前プラザ	
3	心のバリアフリーを推進するため、啓発パンフレットを配布します	小学4年生、中学3年生	
4	多様な性への理解を深めるため、啓発リーフレットを配布します	中学2年生	
5	社会にある障害を見抜き、解決に向けた行動につなげるため、心のバリアフリーセミナー(DET研修)を行います	市職員、市内中学校、関係団体、市民	
6	パラアスリートとの対話を通じて、共生社会実現に向けた理解を深めるため、心のバリアフリーセミナー(オンライン版「あすチャレ!ジュニアアカデミー」)を行います	市内小学校	
7	更年期以降の女性に多く見られる心身の不調についての理解を広げるため、10月18日の「世界メノポーズデー」を広く周知します	市民	
8	共生社会シンボルマークの塗り絵及び共生社会実現に向けたメッセージを募集し、市役所本庁舎1階市民ホールにて掲示します(10月6日(月)～24日(金))	市民	
9	年齢や性別、国籍、障害の有無に関わらず、様々な人が一緒に楽しめるユニバーサルスポーツの体験教室をJESCOアリーナ渋川(渋川市子持社会体育館)にて開催します(10月5日(日))	市民	(公財)渋川市まちづくり財団(しぶかわスポーツクラブ) (26-3009)
10	車椅子や足が不自由な人など窓口への移動が困難な人に対し、職員が庁舎内を移動して対応するなど、心のバリアフリーの視点による窓口サービスを実施します	市民	市民課 (22-2459)
11	多様な世代が参加できるしぶかわ環境まつりを子持ふれあい公園にて開催します(10月5日(日))	市民	環境森林課 (22-2114)
12	しぶかわ環境まつり(10月5日(日))及び市役所本庁舎1階市民ホール(10月22日(水))にてフードドライブを実施します	市民	
13	日本語学習の機会を提供するため、日本語教室を開催します	市内在住の外国籍の人	市民協働推進課 (22-2463)
14	市民と市内在住外国人の交流の機会を提供するため、バーベキュー交流会を渋川市総合公園バーベキュー場にて開催します(10月25日(土))	市民、市内在住の外国籍の人 (事前申込)	
15	市内イベントや休日当番医などを英語で紹介する「しぶかわカレント」を配布します	市内在住の外国籍の人	

No.	取組内容	対象	所管課
16	出前手話教室を開催し、手話の理解及び普及を図ります	市内小中学校	地域包括ケア課 (22-2250)
17	市民、観光従事者、医療機関従事者向けの手話教室を開催します	市民、観光従事者、医療機関従事者	
18	車椅子の乗車・介助体験を通じて、肢体障害や介護への理解を深めます	市民	
19	市で作成した手話学習教材の動画を、市公式YouTubeで配信します	市民	
20	手話通訳士及び聴覚障害者を派遣し、園児が遊びながら手話に触れられる手話あそび体験を実施します	保育園、保育所、幼稚園、認定こども園	こども支援課 (22-2415)
21	外国語コミュニケーションツールを活用し、窓口相談や訪問指導を実施します	市内在住の外国籍の人	健康増進課 (25-1321)
22	労働環境整備など誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組む事業者に、「誰もが働きやすい職場環境づくり応援事業補助金」を交付します	市内中小企業者	産業政策課 (22-2596)
23	市内の宿泊施設関係者を対象とした「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の認定要件である「年1回以上の従業員教育」の代わりとなるセミナーを行い、誰もがより安全で快適な旅行を楽しむことができる環境整備の推進を図ります	宿泊施設関係者	観光課 (22-2873)
24	アイマスクを付けて歩行する体験を通して、視覚障害への理解を深めます	市内小学校	学校教育課 (22-2121)
25	点字を打つ体験を通して、視覚障害への理解を深めます		
26	講師を招いて、お話や寸劇、クイズを通して認知症について理解を深める「認知症学びの講座」を実施します		
27	車椅子に乗ったり押したりする体験を通して、肢体障害や介護への理解を深めます		
28	視野が狭くなるゴーグルや重りを付けて行動する体験を通して、高齢者の生活上の困難さや介護の重要性についての理解を深めます	市内小中学校	
29	講師を招いて、手話を学ぶことで聴覚障害への理解を深めます		
30	福祉関係施設への訪問を行い、高齢者との交流を通して相手を思いやる気持ちや共に助け合う気持ちを育みます		
31	市民が主催する学習会などへ、「共生社会実現のまち渋川市」「障害者福祉」「高齢者福祉」「渋川市の国際交流の取り組み」等に係る担当職員を派遣し「しぶかわ出前講座」を実施します	市民	生涯学習課 (22-2500)

No.	取組内容	対象	所管課
32	市内在住の障害のある人や妊婦などで1人では来館できない人を対象に、市立図書館所蔵資料を職員が無料配送します	1人では来館が困難な人	渋川市立図書館 (22-0644)
33	常設展示室の彫刻は年齢や障害の有無に関わらず手で触れて鑑賞することができます	どなたでも	美術館 (25-3215)

参考

共生社会シンボルマークのコンセプト

渋川市の花「あじさい」をモチーフに、多様な色を一人ひとりに置き換えました。あじさいの花が一つにまとまるように、市民が互いを尊重し、支え合いながら暮らしていく姿を表しています。



共生社会実現のまち
渋川市

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：政策戦略課 (電話0279-25-8419)

課長 小野 篤史 (内線2420)

未来戦略係長 齋藤 大輔 (内線2423)

各事業者等による食品ロス削減の取り組みを募集する 「私たちの食品ロス削減取組コンテスト」を実施します

渋川市は、各事業者等が食品ロスの削減に向けてできることを考え、食品ロス削減に向けた行動変容につなげることを目的として、食品ロスの削減に向けて実践している取り組みを募集する「私たちの食品ロス削減取組コンテスト」を実施します。

1 概 要

渋川市は、食品ロスの削減を推進するため、令和3年4月から「渋川市もったいないの心を持って食品ロスの削減を推進する条例」を施行しました。また、令和5年には、「渋川市食品ロス削減推進計画」を策定しています。

令和7年度は、事業系食品ロスの削減を目指して、事業者等として実践している食品ロス削減のための取組事例を募集するコンテストを実施します。

事業者等が食品ロス削減のために実践している取り組みを広く周知することで、各事業者等ができることを考え、食品ロス削減に向けた行動変容につなげることを目的として実施するものです。

2 食品ロスの発生状況

食品ロスの発生は、食べ物を無駄にしているだけでなく、食品ロスの廃棄に多額のごみ処理費がかかります。また、処理する際の二酸化炭素の排出増加により、環境への影響があります。さらに、我が国では、9人に1人の子どもが貧困であるとされ、日々の食事に困っている子どもが少なくない状況にあります。これを受けて、国は、食品ロスの削減を国民運動として位置付け、国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体の連携を図ることを目的として、「食品ロスの削減の推進に関する法律」を令和元年10月に施行しました。

国の食品ロス量は、事業者から231万トン、家庭から233万トン排出されており、年間464万トン（令和5年度推計値）の食品ロスが発生しています。

渋川市では、令和3年度に実施した家庭系食品ロス実態調査の結果に基づき、令和元年度、事業者から2,155トン、家庭から1,722トンの計3,877トンの食品ロスが発生していると推計しています。

3 募集内容

食品ロス削減のために事業者等が取り組んでいる事例を募集します。

4 応募資格

- (1) 渋川市内の事業者
- (2) 渋川市内各保育所（園）、認定こども園、幼稚園、小中学校、高等学校又は専門学校等の教育機関
- (3) 渋川市内の団体等

5 応募条件

- (1) 応募事業者等が取り組み、未発表で他のコンテストなどに応募していないもの
- (2) 応募者以外の被写体（人物、美術品、商標、建築物など）について、当該人や権利者の承諾を得ていること
- (3) 特定の企業名や商品名を出していないこと
- (4) 応募は複数応募可

※他にも応募条件があります。詳しくは、市ホームページを確認してください

市ホームページはこちら▶



6 応募方法

指定の応募申込書①、応募申込書②に取り組みの様子が分かる写真を添付して、メール（kankyou@city.shibukawa.gunma.jp）、郵送（〒377-8501・渋川市石原80）または直接持参で環境森林課へ提出してください。

※指定の応募申込書①・②は、環境森林課または市ホームページにあります

7 募集期間 令和7年10月1日(水)～10月31日(金) (必着)

8 賞

応募作品を審査し、優秀作品に賞を贈ります。

- (1) 最優秀賞3点以内＝賞状、賞品
- (2) 優秀賞6点以内＝賞状

9 審査

渋川市食品ロス削減推進協議会委員等が審査を行います。

10 入賞作品の発表・活用

- (1) 入賞者及び作品は、令和8年1月以降に市ホームページで発表します
- (2) 入賞作品は、市ホームページへの掲載など、渋川市の食品ロス削減推進の取り組みに活用する予定です

11 周知方法

- (1) 広報しぶかわ（10月号）、市ホームページに掲載
- (2) 市公式LINE、X（旧Twitter）での情報発信
- (3) 渋川市内各保育所（園）、認定こども園、幼稚園、小中学校、高等学校などでのチラシ配布

■問い合わせ先

市民環境部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

環境政策係長 小林 哲彦（内線1146）

家庭ごみの出し忘れを防ぐため 渋川市公式LINEを活用した「ごみの日通知」の運用を開始します

環境省が定める3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間の10月に合わせて、ごみ出しに関する市民の利便性を向上させるため、渋川市公式LINEを活用してごみ収集日をお知らせする「ごみの日通知」の運用を開始します。

1 概 要

渋川市は、現在、LINE公式アカウントを活用して、ごみ収集カレンダーの確認機能や、ごみの分別区分の検索機能を運用しています。これらの機能に加えて、プラスチックなど家庭ごみの出し忘れを防ぐことを目的として、「ごみの日通知」の運用を開始します。

2 内 容

市民が、居住する地域を渋川市公式LINEから設定することで、ごみの分別区分ごとに、それぞれ収集日前日の午後6時に通知が届きます。

【通知の例】



3 運用開始日 令和7年10月1日(水)

4 そ の 他

県内12市では、館林市とみどり市がLINE公式アカウントによるごみの日通知を運用しています。

また、前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、藤岡市、富岡市は、ごみ分別アプリによる通知を運用しています。

LINE公式アカウントによる運用の場合、すでにLINEを使用している人は、新たにアプリをインストールする必要がなく、「友だち追加」するだけで手軽に利用できるため、利用開始までのハードルが低くなる点がメリットとして挙げられます。

■問い合わせ先

市民環境部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

生活環境係長 高橋 昭仁（内線1141）

渋川市20周年記念事業

「しぶかわ環境まつり」を開催します

環境省が定める3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間の10月に合わせて、しぶかわ環境まつりを開催します。今年度は新たに、リチウムイオン電池などの回収や、プラマークのついたプラスチックとごみ袋の交換を行います。

1 概 要

渋川市は、ごみの減量化の推進と環境への意識向上を図るため、しぶかわ環境まつりを開催します。展示・体験コーナーを巡るスタンプラリー、リユース品の回収、集積所にごみとして出せないタイヤなどの有料回収などを行うほか、恒例のふわふわ遊具コーナーや模擬店などを設置します。

2 日 時 令和7年10月5日(日) 午前9時～正午

3 会 場 子持ふれあい公園（渋川市吹屋658-1）

4 内 容

（1）小型充電式電池の回収

普段は、渋川市役所環境森林課の窓口で回収している「リチウムイオン電池」や「モバイルバッテリー」などの小型充電式電池を、会場で回収します。

※膨張や変形しているもの、小型充電式電池の取り外しができない製品も回収します

（2）プラマークの付いたプラスチックごみとごみ袋の交換

プラマークの付いたプラスチックごみ2点以上と、渋川市のプラスチック専用の指定袋（大サイズ）1枚を交換します。

（3）牛乳パックの交換回収

牛乳パック1kgにつき、トイレットペーパー3個（上限は1人18個まで）と交換します。

（4）展示・体験コーナーを巡るスタンプラリー

下記の展示・体験コーナーを巡り、スタンプを集めた人に、景品を配布するスタンプラリーを実施します。

- ・ボカシ肥料作りの実演
- ・いろいろな発電を体験してみよう
- ・空き缶つりゲーム
- ・環境に優しい路線バスの展示
- ・EVトラックの展示とエコドライブ体験チャレンジ
- ・リサイクルの取組の案内とサステナ重さ当てチャレンジ
- ・食品ロスのパネル展示

- (5) おもちゃの病院コーナー
物を大切にする心を育むため、壊れたおもちゃを診察、修理します。
- (6) 処理困難物の回収コーナー
通常は、集積所にごみとして出せない下記の処理困難物の回収を行います。
- ・家電4品目（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン）の有料回収
 - ・消火器の有料回収
 - ・タイヤの有料回収
 - ・バッテリーの無料回収
- (7) リユース品の回収コーナー
家庭にある、まだ十分に使える衣類などの不用品を、ごみに出さずに無料で引き取り、リユース事業者を通じて再利用につなげます。

5 運 営 渋川市環境美化推進協議会に委託し、実施します

参考

過年度の実施状況

- (1) 令和5年度
- ・実施日：令和5年9月3日(日)
 - ・内 容：展示・体験コーナー、牛乳パックの交換回収コーナー、おもちゃの病院コーナー、処理困難物の回収コーナー
 - ・来場者数：約3,500人
- (2) 令和6年度
- ・実施日：令和6年10月27日(日)
 - ・内 容：展示・体験コーナー、牛乳パックの交換回収コーナー、おもちゃの病院コーナー、処理困難物の回収コーナー、リユース品の回収コーナー
 - ・来場者数：約3,100人

■問い合わせ先

市民環境部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

生活環境係長 高橋 昭仁（内線1141）

小型充電式電池の回収

「リチウムイオン電池」や、「モバイルバッテリー」などの小型充電式電池を回収します



※膨張や変形しているものも回収します

展示・体験コーナーを巡るスタンプラリー

会場内の展示・体験コーナーを巡り、スタンプを集めた人に景品を配布します



〔展示・体験コーナー（予定）〕

- ◆ ボカシ肥料作りの実演
- ◆ 資源と遊び・学び（空き缶つりゲーム）
- ◆ EVトラックの展示・エコドライブ体験チャレンジ
- ◆ リサイクルの取組の案内とサステナ重さ当てチャレンジ
- ◆ 食品ロスのパネル展示
- ◆ いろいろな発電を体験してみよう
- ◆ 路線バスの展示

プラマークとごみ袋の交換



プラマークの付いたプラスチックごみを2点以上、会場へ持参した人に対して、

市のプラスチック専用の指定袋（大）1枚を交換します



10月は
3R推進
月間です

環境まつり

しぶかわ



渋川市20周年

牛乳パックの交換

牛乳パック1kgにつき、トイレットペーパー3個と交換します（最大18個まで）

※持ち帰り用の袋などを持参してください



処理困難物の回収

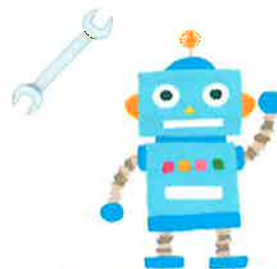
ごみとして集積所に出せない処理困難物を回収します

※回収料金の支払いは、現金のみです



おもちゃの病院

壊れたおもちゃを診察、修理します



リユース品の回収

家庭にある、まだ十分に使える不用品を、ごみに出さずに無料で引き取り、再利用につなげます

- ・衣類
- ・食器類
- ・おもちゃ
- ・工具
- ・雑貨
- など

※使用できるものが対象です

令和7年

10月5日

日

午前9時

正午

／会場／

子持ふれあい公園
（渋川市吹屋658番地1）



ふわふわ遊具や
模擬店コーナー
もあります

『しぶかわ環境まつり』の詳しい開催内容は、渋川市ホームページ（右の二次元コード）や、広報しぶかわ9月1日号で確認できます

